

県央ブロックごみ処理施設整備予定地の選定等の取扱いについて

県央ブロックにおける新たなごみ処理施設の整備予定地の選定については、平成29年5月に整備候補地4か所を公表後、各候補地で住民説明会や懇談会等を開催し、地域住民や関係者との協議や意見交換を行ってきた。

平成30年8月には、各候補地の状況を踏まえ「都南工業団地付近」及び「盛岡インターチェンジ付近」を地域住民や関係者との協議を優先的に実施する候補地とした。

また、平成31年3月25日に開催した県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会では、各候補地に係る「地域住民や関係者の意見等」、「整備の確実性」及び「整備運営上の諸条件」の要素を総合的に判断した上で、「盛岡インターチェンジ付近」を最も有力な候補地とし、地域との協議を優先して継続することとした。

以後、同候補地で住民説明会、懇談会等を開催するなど、地域住民や関係者との協議・意見交換を重ねてきたところであるが、今般、住民説明会等を通じて地域から寄せられている意見等を踏まえ、整備予定地の選定等の取扱いについて協議するものである。

1 住民説明会等の開催状況

最も有力な候補地としている「盛岡インターチェンジ付近」における令和元年度の住民説明会等の開催状況は、次のとおりである。

【盛岡インターチェンジ付近における住民説明会等の開催状況】

年月日	実施内容	概要	参加者
R1.5.26	懇談会	ごみ処理施設の整備を含む地域のまちづくりをテーマとする「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」を開催（盛岡市による開催）	77名
R1.7.29	施設見学 （仙台市）	候補地に類似した立地状況で、廃棄物エネルギーを利用したスポーツ施設を併設する「仙台市松森工場（H17年竣工、600 t/日、ストーカ炉）」の見学会を実施	50名
R1.9.14	施設見学 （武蔵野市・さいたま市）	市街地に立地し、公共施設への電力・熱供給によるエネルギー利用のほか、災害時のエネルギー供給拠点機能を有し、環境イベントの開催など住民に開かれた施設運営をしている「武蔵野クリーンセンター（H29年竣工、120 t/日、ストーカ炉）」及び住宅地に近い立地の「さいたま市桜環境センター（H27年竣工、380 t/日、ガス化溶融炉）」の見学会を実施	13名

年月日	実施内容	概要	参加者
R1.9.18	住民説明会	太田地区の住民を対象とした住民説明会を開催	74名
R1.9.21	シンポジウム	<p>廃棄物エネルギーを活かしたまちづくりや住民参加への理解を深めていただくことを目的に、シンポジウムを開催</p> <p>【講演内容】</p> <p>① ごみ処理施設とまちづくり（埼玉大学名誉教授 小松登志子氏）② 地域貢献に向けた廃棄物エネルギー利活用計画について（環境省課長補佐 大沼康宏氏）</p> <p>③ 地域に開かれた施設と廃棄物エネルギーの利活用（武蔵野市環境部長 木村浩氏）</p>	70名
R1.11.29	住民説明会	太田地区の住民を対象とした住民説明会を開催	55名

2 情報提供

ごみ処理広域化の進捗状況等について広く周知するため、次のとおり情報提供を行った。

(1) 広報もりおかへの掲載

5月15日号と9月1日号の広報もりおかに、ごみ処理広域化の進捗に関する記事を掲載した。

また、ごみ処理広域化の経緯や必要性、多く寄せられる質問への回答等について、11月15日号の広報もりおかに特集記事（見開き2ページ）を掲載した。

(2) 盛岡市公式ホームページへの掲載

住民説明会や懇談会の開催概要を盛岡市公式ホームページに掲載した。

3 地域住民や関係者からの意見等

各候補地で開催してきた住民説明会や懇談会では、地域住民や関係者から多くの要望、意見、質問等が寄せられている。主なものは、別紙資料（24～26ページ）に記載のとおりである。